

**15<sup>th</sup>**  
ANNIVERSARY

過去に敬意を。  
未来に意志を。

# KIT HISTORY M A N G A

STORY 05. 黒字化そして新たな柱づくりへ

島根大  
木下先生から  
初めて電話があった日

そうでしたか！  
はい！はい！

懐かしいです

失礼します

話が大きいに  
盛り上がった後

がんプロ

これは

大きな  
チャンスなのでは  
ないだろうか

国の補助金で  
大学側の予算面も  
クリアできる

ウチのシステムなら  
どんな  
教育プログラムでも  
活用してもらえる

がんプロに  
採択された大学や  
応募しそうな  
部署を狙えば

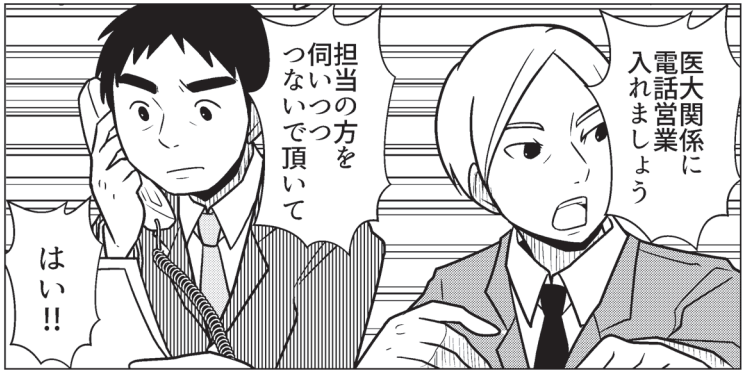


再び即刻  
木村は動いた

まずは  
がんプロについて  
詳細を調べて

それから  
DMの  
準備です

はい!!



医大関係に  
電話営業  
入れましょう

担当の方を  
つないで頂いて

はい!!



社長!!  
DMも電話も  
なかなか担当者  
に辿り着きません!!

ただ各大学に  
学術支援の部が  
あるようです!!

学術支援?  
そこでですね!  
改めて調べて  
アプローチ  
しましょう!!



木村情報技術です

はい

トライ&エラーと  
様々なアプローチで  
芽が出始める



3eConference  
について  
うかがいたく...

私順天堂大学の  
者ですが...



それが「がんプロ」に  
採択された資料に  
のことを書かれていますよ  
いたらしんで

がんプロの  
資料に？

なぜ!?



という電話が  
ありまして...

お？  
D? M? から  
ですから?  
サイトから  
ですか?





島根大学からの  
お問い合わせを  
きっかけとして  
20以上の大学から  
発注をいただき  
1億6000万円の  
売上を達成  
3期目(08年6月)にして  
過去の赤字を解消  
累計黒字に転じたのだった



翌09年再び  
ビッグウェーブが  
訪れる

「病院連携」？  
補助金？

大学病院連携型  
高度医療人  
養成推進事業という  
ものらしいです

また  
ウチのサービスが  
お役に立てそうですね  
しかも補助金額が  
大きい!!

三たび即刻  
木村は動いた



「病院連携」では  
指導医と専門研修医の  
コミュニケーションを  
促すツールや

専門研修医の  
実績管理システムが  
大学病院に  
受け入れていただけ



しかし木村は  
この時すでに  
疑問を持っていた

全ては補助金が  
あつてのもの…

補助金が  
無い年は…  
どうする？

皆のおかげで  
事業も  
やつと軌道に  
乗ってきた  
…しかし

補助金事業に頼らない  
新たな「柱」を作るため  
木村は動き始めていた